画像レポートを用いたリアルワールドデータのバリデーションに関する研究

1. 研究の対象

2008年1月1日から2024年3月31日に当院を受診された方を本研究の対象としています。

2. 研究の概要

本研究は、画像診断レポートに記述された臨床情報を機械学習により構造化し、リアルワールドエビデンスとしての可能性について評価します。具体的には、“がん”のような重要所見を正しく抽出できるかを評価し、また、レセプト・DPCなどの保険データを用いてその結果の妥当性を検証します。

【研究期間】

調査データ該当期間：2008年1月1日～2024年3月31日

研究期間：研究機関の長の許可日～2029年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2024年8月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報、レセプト、DPCなどの保険データ、がんの種類、診断日、ステージ情報、検査レポートなどの医療記録

4. 外部への試料・情報の提供

得られたデータは主たる研究機関である大阪大学へ集積させますが、外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関：

- 大阪大学大学院医学系研究科 武田 理宏

共同研究機関：

- 大阪国際がんセンター 西村 潤一

- 大阪医療センター 松村 泰志

- 大阪労災病院 平松 直樹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 医療情報部

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：西村潤一

-----以上